

## 「太宰府天満宮奉納全国俳句大会」ご案内

皆さまにおかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。  
この度第三回太宰府天満宮奉納全国俳句大会を左記の要領で開催

この度第三回太宰府天満宮奉納全国俳句大会を左記の要領で開催することになりました。  
多くの皆様にご参加くださいますようご案内申し上げます。

◎募集句  
応募句  
投句料  
雑詠一句一組（公平な審査を期すために三組までとします）  
一組二句  
一、〇〇〇円

雜詠一句一組（公平な審査を期すために三組までとします）  
一組一句一、〇〇〇円

左記の大会募集句応募用紙とともに、小為替を同封又は現金書留。

※入選句結果を希望の方は百円切手  
令和八年二月十日(火) 当日消印有効

一八三〇一一二二 北野郵便局留 (住所はこれで届きます)

太宰府天満宮賞、  
長谷川櫂賞、日本航空賞  
[太宰府天満宮奉納全国俳句大会] 募集句係 上瀬玲子行

## 大会当日 会場にて発表

長谷川権（朝日俳壇選者）  
稻畑廣太郎（ホトトギス主宰）  
川越歌澄（第一回北斗賞受賞）  
小澤實（澤主宰）

## ◎俳句大会

選締參吟交会日  
加行  
者切料地通場時

令和八年四月二十六日（日）九時半より受付  
太宰府天満宮 余香殿（御本殿に向かつて左） 太宰府市宰府四丁目七番一号  
西鉄太宰府駅より徒歩五分 ※車でお越しの方は周辺駐車場をご利用ください。  
太宰府天満宮及びその周辺（觀世音寺・大宰府政庁跡等）  
一、000円（当日受付にて）  
十二時十五分（吟行句及び当季雜詠 三句）  
長谷川櫂、谷口慎也、古庄たみ子、（客員選者）  
金子清默、月溪花代

第一部 第二部  
十一時～十二時（於・余香殿）  
基調講演 長谷川櫻先生  
俳句大会 十二時三十分～十一時

十一時～十二時（於・余香殿）  
基調講演 長谷川櫂先生 「おぐのほそ道、二  
俳句大会 十二時三十分～十六時三十分（予定）

切り取り線

- ・ペン又は、ボールペンにてご記入下さい。
- ・投句は上段より空けずにご記入ください。
- ・応募は一人三組（六句）迄です。
- ・原寸でコピーしてお使いください。
- ・入選句送付はいづれかに○をお願いします
- ※は記入しないでください。

## 大会募集句応募用紙

郵便番号		一	
入選句送付 必要 (百十円切手三枚同封) ・ 不要	姓・俳号		住 所
			ふりがな
電話	都道府県		
通し番号(記入しないでください)			
※			

## \* 基調講演

講演者 長谷川櫂（はせがわかい）先生

演題 「おくのほそ道、三つの謎」

（朗読 大穂迢雲）

### 講演者紹介

1954年、熊本県下益城郡（現・宇城市）生まれ。

俳人、朝日俳壇選者、俳句結社「古志」前主宰、

インター ネット歳時記「きど」さい」代表、神奈川

近代文学館副館長。

句集『虚空』（読売文学賞）、『長谷川櫂自選500句』など、

著書『俳句の宇宙』（サントリ一学芸賞）、『俳句的生活』

『古池に蛙は飛びこんだか』『俳句の誕生』『俳句と人間』など。

現在、読売新聞に詩歌コラム「四季」、熊本日日新聞に「故郷の肖像」、俳句総合誌「俳壇」に

「二度目の俳句入門」を連載中。

日本芸術院賞受賞（令和七年年六月）

### \* 「太宰府天満宮奉納全国俳句大会」に際して

太宰府天満宮は、菅原道真公の御墓所であり、文化芸術の神様として信仰されてきた長い歴史があります。神苑には松尾芭蕉句碑、河野静雲句碑、高濱年尾句碑、夢塚など、俳句との深い係わりが数多く見られます。

俳句は、和歌や連歌に続き、更に日本の四季や言語の美しさを表現して紡いできた文化芸術の一つであると共に、日本人の心を育むために残された大変重要なツールの一つでもあります。

ここに第三回太宰府天満宮奉納全国俳句大会を行うことは、俳句文化の更なる発展に大きな意義

のあることであり、歴史的なことであると思われます。

今回は、朝日俳壇選者をはじめ、俳諧の先達として活躍の長谷川櫂先生に基調講演をしていたります。個々の俳人としても一人一人の俳句に幅を広げ、楽しく素晴らしい時を刻む機会となることと存じます。

皆様の広く大きなご理解を賜り、そしてご参加頂きますことを心よりお待ちしております。

令和七年十一月吉日

太宰府天満宮奉納全国俳句大会実行委員会

実行委員長

金子清黙（萌黄主宰）

特別協力  
太宰府天満宮  
日本航空  
太宰府市  
協賛  
後援

【問合せ先】 月溪花代 電話 0990-6421-9756  
（つきにかよ つきにかよ）